



平成 20 年 11 月 28 日

各 位

会 社 名 ウ シ オ 電 機 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 菅田 史朗
(コード番号 6925 東証・大証市場第 1 部)
問 合 せ 先 執行役員 経営企画部長
小林 敦之
(TEL 03-3242-1811)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 20 年 4 月 28 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正の内容

(金額の単位：百万円)

平成21年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成20年 4 月 1 日～平成21年 3 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前回予想 (A)	152,000	20,500	24,500	16,000	117円07銭
今回修正 (B)	130,000	12,500	13,000	6,500	47円93銭
変動幅 (B-A)	△22,000	△8,000	△11,500	△9,500	—
増減率 (%)	△14.4	△39.0	△46.9	△59.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	148,148	20,050	23,319	15,486	112円96銭

平成21年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成20年 4 月 1 日～平成21年 3 月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株あたり 当期純利益
前回予想 (A)	64,000	9,400	13,000	7,600	55円61銭
今回修正 (B)	53,000	5,500	7,000	2,500	18円43銭
変動幅 (B-A)	△11,000	△3,900	△6,000	△5,100	—
増減率 (%)	△17.1	△41.4	△46.1	△67.1	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	59,622	9,314	12,473	6,626	48円34銭

2. 修正の理由

世界的な金融危機と経済不況の進展により、事業環境は厳しさを増しております。当社グループの重要な市場である半導体・液晶市場におきましても、最終製品の販売低迷から在庫が積み上がり、生産調整が拡大する中、価格の下落も進行しております。そのため、半導体・液晶関連企業を中心にした設備投資の延期や中止、また生産稼働率の低下が一層顕著になっており、当社グループの装置事業やリプレイスランプ事業も想定以上に大きな影響を受ける見込となりました。また、映像関連・光学装置分野でも、国内外の景気と消費の急速な減速が、当社グループ業績に予想以上の影響を与えております。

以上の要因に加え、円高の進行と株式市況の悪化も考慮し、通期業績予想を下方修正いたします。なお、通期業績見通しの前提となる第3四半期以降の為替レートにつきましては、1米ドル95円、1ユーロ120円を想定しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明

上記業績予想は、現時点での入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は様々な要因により、予想数値とは異なる場合がございます。
--

以 上